

育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.198

2020. 11. 1

川崎市への「令和3年度予算要望書」提出を終えて

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長 美和 とよみ



令和2年8月20日(木)「令和3年度予算要望書」を川崎市へ提出いたしました。

今年度は、災害により通所施設が被災した時の対応策をメインに要望書を提出したいと考えていました。しかし、新型コロナウイルスが発生し、今までと違う日常生活が始まり、家族や本人が罹患した時の対応への不安の声が大きくなりましたので、その対応策を緊急要望としてお願いしました。神奈川県対応策については発表されていますが、川崎市独自のものを早急に考えていただきたいと思えます。

また、グループホームやショートステイなどの地域バランスを考えた建設、人材の確保、24時間対応の相談機能など、長年継続の要望もたくさんあります。少しずつでも前進するよう要望を続けてまいります。

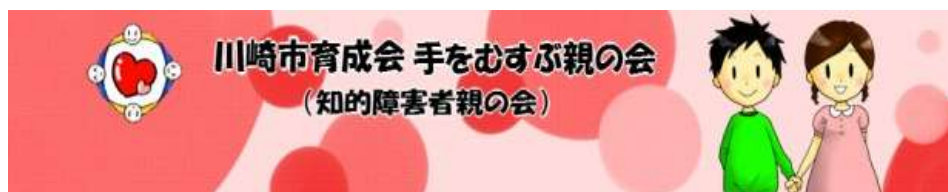
1. 災害時の支援について
2. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策について
3. 人材の確保と育成について
4. 特別支援学校卒業生在宅ゼロ施策の継続並びに通所施設や就労先などになじめず在宅で引きこもりがちな人に対する支援の強化
5. 障害者の高齢化と家族の高齢化に向けた取組み
6. 地域生活を支える保健、医療、福祉サービスの拡充
7. 障害者理解を深めるための啓発の積極的な推進 など

通所施設等の老朽化による移転や建て替えの計画が進んでいます。「新しい施設にこんなサービスがあったらいいな」など、それぞれの地域で必要なサービスについて、皆様の声をお聞かせください。

「令和3年度予算要望書」はホームページに掲載しています。ご意見をお寄せください。次年度に活かしたいと思います。

ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



新型コロナウイルス自粛生活を振り返って

新型コロナウイルスの影響で、誰もが想像しなかった緊急事態宣言を受け、自粛生活が続き苦しい状況の中でどのように過ごされたのか、思ったことを寄せていただきました。

緊急事態宣言を受けて

新型コロナウイルス感染防止のため、国から緊急事態宣言が出され田島支援学校も4・5月と臨時休校になりました。現在、高等部3年の知的障害の息子は、学校が休みになり「ゲーム三昧だ」と喜んでいました。自宅ではスマホを片手に、オンラインゲームや体重管理のために腹筋やシャドーボクシングなどを行う日々が続きました。休校となり1か月が過ぎた頃から、夜遅くまで友人と会話をするようになり、生活リズムの乱れが目立ちはじめました。私自身、働いていたためコロナに感染するかもしれないという不安を抱えながら、息子の生活リズムを整え、楽しく過ごせるように何が出来るかを考えるようになりました。息子が作ってくれる野菜炒めを美味しく家族で食べたり、美味しい手料理を作ったり、家族が気持ち良く過ごせるように少しの気遣いをしていた事を思い出します。



(17才の男の子)

新型コロナウイルス蔓延による緊急事態宣言の時のこと



4月7日に緊急事態宣言が宣言されましたが、その前週に通所している施設から宣言が出たらどうするかアンケートが来ました。そこには「できるだけ家で過ごすことをお勧めします」と書かれていました。それでも「週2～3日でも通わせたい」と書きました。お休みした方が多かつたらしく、4月中は毎日通うことができました。

しかし、5月の連休明けからは週2日だけの通所になってしまいました。今思えばたかが1か月ですが、その1か月が長かったこと…。救いだったのはショートステイが普通に利用できたことでした。

6月からは通常通りに利用できるようになりましたが、送迎車がどうしても密になってしまうということなので、朝は自分で送っています。

この経験で、日常の買い物以外の外出はほとんどしなくなりました。また、普通に散歩の日が来るのでしょうか、この体験は今までの無駄かもしれなかった行動を反省するきっかけになったのかな…?とったりしています。

(梅田 順子)

自粛中の生活を振り返って

息子の職場も5月8日から営業自粛になりました。運動の為、テレビ体操や部屋の掃除、風呂掃除などで体を動かしていました。更に、散歩に誘うといやいやながら付いてきましたが、翌日には「散歩はもう行きたくない!」と断られました。目的を持たずに歩くのは嫌だったようです。でも、大好きなサンドラッグストアや100均での買い物はストレスを解消するには最高の場所になりました。

それでも、コロナ感染者の増加に苛立って大声をだすこともありましたが、普段から書いて覚える習慣があるので自粛中はメモ魔になり何事もメモしていました。

2か月余りの自粛でしたが、7月13日から営業再開が決まると「よかった!会社行ける」と嬉しそうでした。再開後、予防対策をしっかり確認して元気に通勤しています。

(中村 恵美子)



新型コロナウイルス緊急事態宣言と娘

4月6日の緊急事態宣言を受けて、翌日からグループホーム運営事業所の方針でもあり通所施設をお休みすることになりました。娘には、「作業所はお休みになったので、平日はホームで過ごします」「土日は家に帰ります」何となくわかってくれているように思えました。ただ、生活介護施設は開けていましたがそのことは、娘には内緒に。グループホームでの自粛生活の中でしたが、日中は緊急事態ということもあり宣言の間、行動援護を使い、散歩などに出かけていました。マスクをしての散歩、マスクの下は日焼けをしていないことに気づき納得しつつも職員と顔を合わせ笑ってしまいました。



6月から週2～3日通所することになりました。しかし、自閉症を伴う最重度の知的障害がある娘にはそのことを理解するのが難しく、不安定になることも多くありました。それで、施設と話し合いを持ち、毎日通所できる対策をとっていただきました。誰もが、今まで経験のない状況の中で、変化に合わせることの難しい娘に理解しやすい支援をいただいています。

(三浦 ルイ子)

新型コロナウイルスに思うこと

今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、あっという間に全世界が恐怖に陥りました。多数の命が失われる中で、幸いにも身近な人に感染者はなく、息子の作業所も時短営業や休業はあったものの現在は通常の生活をおくらせています。窮地に陥ったときこそ、心の力が大切だと思いました。



今尚、感染に苦しむ方や医療従事者の方にエールを送るとともに何もない日常に感謝をしたいと思います。

(小西 真弓)

コロナ禍生活について

息子の通所施設（生活介護）からは「在宅等で過ごせる方は利用を控えて欲しい」という利用自粛お願いのプリントが4月半ばに配布されました。感染は心配なもの、息子を長期間自宅だけで過ごさせることに負担を感じましたので、週に2～3日通所させることにしました。余暇活動は中止、ヘルパーさんの外出支援はお休み。施設に行かない日は親と散歩や買い物をして過ごしましたが、書店や図書館など地域の施設も閉まって利用できなくなる等、息子には理解しがたい状況でした。それでも比較的落ち着いていたのですが、自粛解除以降も元通りにはならない生活が長引くにつれ、些細なことで怒ったり不安定な様子が表れるようになってきたと思います。心身への影響が心配です。



(小澤 千枝)

息子とのコロナ生活

私の息子は、28才で、月1回訪問支援を受けています。自粛生活で、マスク・手洗い・うがい・小さな声など、決まりごとが多く、不安定な気持ちにさせてしまいました。甲高い声で、「頑張った！頑張った！」の連呼や「7時、お風呂、入ろうね」「約束しようね」と指切りを求めてくる行動を日に何度も繰り返していました。そのため、家事などが中断してしまうのですが、こじらせてしまうと息子のイライラが長引くので、「約束しようね」と答えて付き合いました。私は、この付き合いが辛いとき、「おかあさん、お洗濯してきます」「お掃除してきます」など息子の了解を取り、気持ちを調整しました。



コロナ生活では、息子との接し方を再度、考え、探ることができました。(安達 ゆかり)

「なかはら障害者福祉施設ひらま」見学会 広報委員会副委員長 高山 君子

9月29日（火）広報委員会で、今年度開所した「ひらま」の見学に行きました。この施設は、JRの最寄駅から徒歩で7分、バス停からは徒歩1分という立地にもかかわらず、樹木や公園に囲まれた静かな環境にありました。

施設内に、生活介護、短期入所、日中一時支援の事業所があり、事業としては別ですが相談交流もあります。

その中で、特に日中一時支援は、通所施設の終わった後に日常生活上の支援やレクリエーション、散歩などをしてくれる、川崎市ではあまり聞いたことのない支援ですが、保護者としてはもっと増えてほしいサービスだと思います。ただし、この事業は基本的に年間契約なので、いきなりお願いすることはできないとのことでした。

施設内はバリアフリーで、優しい木の雰囲気になっています。作業室や食堂も見せていただきましたが、それぞれベッドを備え付けてあったり、特性や好みに合わせてパーティションをかえたり、落ち着いてすごせるよう考えられているようでした。そのせいでし



食堂

ょうか、まだ開所して半年で、しかもコロナの影響もあつたはずなのに利用者の方々は落ち着いて過ごしているように思えました。また、日当たりの良い園庭では、いろいろ栽培していて、今年は夏野菜が豊作だったそうです。

その他、地域との交流や貸し出しも視野に入れた体育室、障害のある方もない方も一緒に楽しめるイベントなども目指しているとのことでした。

「ひらま」のこれからに期待しています。



正面から見た「ひらま」

令和2年度川崎市障害者作品展開催&出展作品募集のお知らせ

障害者の創作作品を広く社会に認識してもらうことにより、障害者に対する理解を深め、また、創作意欲や創作技術の向上を図りながら障害者自らの生きがいづくりに繋げていくことを目的に開催します。

- 会 場 川崎市アートガーデンかわさき 第1展示室
- 展示期日 令和2年12月16日（水）～令和2年12月20日（日）
- 主 催 川崎市・川崎市障害者社会参加推進センター
- 応募資格 原則として市内在住・在勤・在学の障害児者（グループも可）
- 出品物等 当作品展に出展したことのない作品で1人1～2点まで。
（絵画、写真、書、手工芸、俳句・短歌、等）
- 申込期日 令和2年10月1日（木）～令和2年11月13日（金）必着

《問い合わせ先》

川崎市障害者社会参加推進センター
〒210-0834 川崎市川崎区大島 1-8-6
電 話 044-246-6941 F A X 044-246-6943
メール zksk@nifty.com



令和元年度の作品展

支部通信

「幸通信」の紹介

幸支部

仁尾 智都子

幸支部では、年に4回「幸通信」を発行しています。法律の改正や社会情勢の変化だけではなく、幸区にある心が和む場所の紹介など、幅広い情報の提供を心がけています。

11月1日発行のNo.28で8年目に突入しました。これからも、皆様の役に立つ情報を届けていけるよう、アンテナをはっていきます。



幸通信 N016 より



幸通信 N026 より

幸支部の皆様に配布するほか、当会のホームページでも公開していますが、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、幸支部役員にお声がけください。よろしくお願いいたします。

私たちの広場

支援者

針木 正子

9月13日(日)川崎スポーツの会「日帰りバス研修会」に、「私たちの広場」・「優友会」のメンバーと支援者とで行ってきました。

手指消毒、マスク着用、三密を避けて座り、いざ出発。コロナ禍で遠出もできず、久しぶりの外出。心もウキウキ、高速もスイスイ。目的地、成田空港のそばにある「航空科学博物館」に到着。玄関前に年代別の飛行機が展示されており、「あつ、飛行機だ」と期待しな



がら館内へ。体験コーナーは残念ながら中止となりましたが、「ザ・飛行機」を満喫し展望台へ。成田空港が見渡せましたが、海外の飛行機はなく JAL と ANA の飛行機が数えられる程で寂しく感じました。やっと、1機、2機と飛び立ち、頭上の雲の中に消えていく姿は、わくわくし歓声もあがり皆にっこりです。

館内のレストランで、飛行機を眺めながら昼食をとり、成田山新勝寺へ向かいました。皆で参拝。参道の散策、買い物のひと時を楽しみ、このコロナ禍の終息、普通の安寧な日常を願い帰途につきました。

『手をつなぐ』を購読しませんか！

全国手をつなぐ育成会連合会の機関紙『手をつなぐ』は、知的障害のあるひとの暮らしに役立つ情報が満載です。

身近な問題から福祉施策の最新情報などを年間3,900円で毎月お届けします。購読のお申し込みは、各支部役員までご連絡ください。



「令和3年 成人を祝う会」のお知らせ



日 時 令和3年1月16日(土)

午前の部 10時30分 成人受付開始 11時00分～ 式典

午後の部 13時00分 成人受付開始 13時30分～ 式典

場 所 川崎市民プラザ 主 催 成人を祝う会実行委員会

今回は式典のみの開催です。午前、午後とも同じ内容です。

新型コロナに負けるな！

各地のお困りごとを支援します！！

全国手をつなぐ育成会連合会（全育連）では、大規模災害に備えて「災害等活動支援基金」を設置しています。今般の新型コロナ感染症も、まさに大規模災害です。そこで、皆さまから広くご寄付を募り、長期的な対応にも備えることとします。ぜひご協力ください！

新型コロナ対策も含め、こんなことに使われます！

★ 新型コロナ等による、さまざまな困りごとへの支援

たとえば、不可抗力による各地のブロック大会の中止・延期に伴う困りごと、正会員（支部会員）が被災からの回復に向けて取り組む研修会やイベントなどの開催を支援します。



★ 新型コロナ対策本部の設置と各地育成会との連動

新型コロナはまさに広域にわたる大規模災害ですので、全育連として「新型コロナ対策本部」を立ち上げ、各地の正会員と連動しながら、困りごと相談の受付と国などへの提言・要望、動画による各種情報発信や研修会の配信などを実施します。



育成会の相互扶助的な取組みです！

ぜひ、こちらへお振込みください！

滋賀銀行（銀行コード：0157）県庁支店（支店番号：160）
 普通口座 口座番号：0519909
 口座名義：一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会
 災害等活動支援基金 会長 久保厚子

振込手数料は
ご負担ください

お問い合わせは、全国手をつなぐ育成会連合会東京事務所まで！

電話：03-5358-9274（平日10時から18時まで）

メール：Info@zen-iku.jp 【担当：又村（またむら）】

知的障がい児者・自閉症児者の 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病气やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

※上記は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。
 特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

病气やケガで入院したとき
入院給付金

病気で死亡したとき
疾病葬儀費用保険金

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき
職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
 新宿三井ビル2号館2F
 TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
 受付時間：午前9時～午後5時
 (土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo
 東京第二プロチャネル営業部
 〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
 TEL: 03-6894-9110
 受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
 神奈川県社会福祉会館内
 TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
 http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2019年11月現在の内容です。(D-004329 2021-03)

※令和2年10月現在ご加入者は9,562名です。毎月1日付で加入できます。今後ともご加入よろしくお祈いします。

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和2年7月9日～令和2年10月15日まで》

<各種会議、行事>

| | | |
|----------|------------------------|---------------|
| 7月14日(火) | 第3回権利擁護委員会 | 地域福祉施設「ちどり」 |
| 17日(金) | 第1回余暇活動委員会 | 地域福祉施設「ちどり」 |
| 27日(月) | 第1回研修事業推進委員会 | 地域福祉施設「ちどり」 |
| 8月20日(木) | 令和3年度川崎市への予算要望書提出 | ソリッドスクエア |
| 26日(水) | 第2回広報委員会 | 地域福祉施設「ちどり」 |
| 9月4日(金) | 三役会議 | 地域福祉施設「ちどり」 |
| 7日(月) | 第4回権利擁護委員会 | 地域福祉施設「ちどり」 |
| 15日(火) | 第2回運営委員会 | 地域福祉施設「ちどり」 |
| 29日(火) | なかはら障害福祉施設ひらま見学(広報委員会) | なかはら障害福祉施設ひらま |
| 10月6日(火) | かわさきキャラバン隊出張講座 | NEC玉川事業所 |
| 14日(水) | 三役会議 | オンライン |

<対外行事>

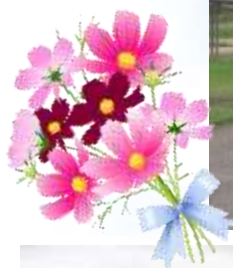
| | | |
|----------|---------------------------|-------------|
| 7月9日(木) | 川崎市あんしんセンター業務監督審査会 | 川崎市総合福祉センター |
| 16日(木) | 障害者支援区分認定審査会(市合議体) | ソリッドスクエア |
| 22日(水) | 川崎市福祉有償運送協議委員会 | ソリッドスクエア |
| 30日(木) | 川崎市社会福祉事業団評議員会 | 事業団事務所 |
| 8月7日(金) | 川崎市障害者施策審議会 | ソリッドスクエア |
| 12日(水) | 障害者団体部会 | 川崎総合福祉センター |
| 25日(火) | 日本発達障害連盟会議 | オンライン |
| 31日(月) | 障害者差別解消支援地域協議会 | ソリッドスクエア |
| 9月3日(木) | 令和3年成人を祝う会実行委員会① | 地域福祉施設「ちどり」 |
| 6日(日) | 川崎市肢体不自由児者父母の会連合会定期総会 | 会館「とどろき」 |
| 7日(月) | 川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議 | ソリッドスクエア |
| 10日(木) | やまゆり生活サポート協会理事会・三者会議 | 神奈川県社会福祉会館 |
| 10日(木) | 川崎市あんしんセンター業務監督審査会 | 川崎市総合福祉センター |
| 17日(木) | 障害者支援区分認定審査会(市合議体) | ソリッドスクエア |
| 25日(金) | 関プロ代表者会議 | オンライン |
| 10月8日(木) | 川崎市障害者作品展実行委員会 | サンピアンかわさき |
| 8日(木) | 川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議 | 中央療育センター |
| 12日(月) | 川崎市地域自立支援協議会 | ソリッドスクエア |
| 15日(木) | 障害者支援区分認定審査会(市合議体) | ソリッドスクエア |



寄付金(順不同・敬称略)

| | | | | | |
|--------|--------|---------|--------|--------|---------|
| 鈴木 妙子 | 中原区市ノ坪 | 3,000円 | 美和 とよみ | 多摩区宿河原 | 20,000円 |
| 結城 眞知子 | 川崎区藤崎 | 10,000円 | 梅田 順子 | 宮前区初山 | 5,000円 |
| 三浦 ひろみ | 幸区南加瀬 | 5,000円 | 市田 榮重 | 多摩区菅城下 | 5,000円 |

私たちの広場 日帰りバス研修会



※私たちの広場は、川崎市内の本人の会です。お問い合わせ、参加申し込みは、
ともかわさき事務局分室 ☎044-812-2966までお願いします。

編集後記

198号ではコロナ禍で経験した会員の自粛生活の記事を掲載しました。皆様も同じような思いをされ、障害者ご本人の生活を守るため、いろいろな工夫をしながらステイホームされたのだろうと想像します。今も活動や行事は控えられ、会員同士の交流は少なくなった状況が続いていますが、広報紙を読んで少しでも思いを共有して、つながりを感じていただけたら幸いです。
(小澤 千枝)

【も く じ】

- P. 1 . 川崎市への要望書提出
- P. 2 . 新型コロナウイルス自粛生活を振り返って1
- P. 3 . 新型コロナウイルス自粛生活を振り返って2
- P. 4 . なかはら障害者施設ひらま見学／障害者作品展のお知らせ
- P. 5 . 支部通信／私たちの広場／「手をつなぐ」購読／成人を祝う会
- P. 6 . 「全国育成会連合会災害等支援活動基金」のお知らせ／やまゆり広告
- P. 7 . 親の会活動報告／寄付・賛助会費
- P. 8 . 私たちの広場写真掲載／編集後記／もくじ

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 美和 とよみ
〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」
TEL : 044-812-2966 FAX : 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>